公開版

活用効果評価結果

平成 27 年度

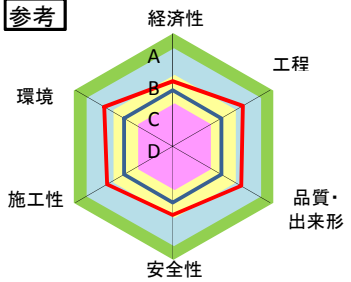
北海道開発局新技術活用評価委員会

NETIS情報	開発目標	省力化、周辺環境への影響抑制、品質の向上				
	新技術登録番号	CB-100042	区分	製品	有用な技術の位置づけ	活用促進技術
	分類	共通工 － 法面工 － 植生工 － 植生ネット工				
	新技術名	ソイルテクター				
	比較する従来技術（従来工法）	植生基材吹付工(厚3cm)				
	新技術の概要及び特徴	ポリエチレンネット、ポリエステル製綿状マット、水解性不織布を一体化させた植生マット				

活用効果評価	所見	・法面貼り付けのみの１工程であるため、工程の短縮が図られ、施工性が向上する。 ・綿状マットにより、基盤材の流出が防止されるため、品質・出来形が向上する。 ・吹付機械を必要としないため、排ガス、騒音、振動もなく環境に優しい。
	次回以降の評価に対する視点と評価の必要性	活用効果調査の継続は行わない。
	留意事項	・積雪寒冷地では凍上について留意する必要がある。
	当該技術における改良点及び要望	－

項目の平均（点）と従来技術（従来工法）（点）の比較

参考



参考

活用効果調査結果

対象工事

1	ダム法面工事	（従来技術: 植生基材吹付工(厚3cm)	（活用型: 施工者希望型(契約後提案)
2	道路改良工事	（従来技術: 植生基材吹付工(厚3cm)	（活用型: 施工者希望型(契約後提案)
3	道路整備工事	（従来技術: 植生基材吹付工(厚3cm)	（活用型: 施工者希望型(契約後提案)
4	砂防工事	（従来技術: 植生基材吹付(3cm)	（活用型: 施工者希望型(契約後提案)
5	道路改良工事	（従来技術: 植生基材吹付工	（活用型: 施工者希望型(契約後提案)
6	法面防災工事	（従来技術: 植生基材吹付工(厚3cm)	（活用型: 施工者希望型(契約後提案)
7	道路建設工事	（従来技術: 植生基材吹付工(厚3cm)	（活用型: 施工者希望型(契約後提案)
8	道路建設工事	（従来技術: 植生基材吹付工(厚3cm)	（活用型: 施工者希望型(契約後提案)
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			

項 ＼ ケース番号及び年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	項目の平均(点)	従来技術（従来工法）(点)
	H22	H23	H25	H23	H24	H26	H26	H26												
施工時評価 経済性	C	B	B	C	D	C	B	B											C	C
工程	C	B	B	A	B	B	B	B											B	C
品質・出来形	B	B	B	A	B	B	B	B											B	C
安全性	C	B	B	B	B	C	C	C											C	C
施工性	C	A	B	B	B	B	B	B											B	C
環境	B	A	B	A	A	C	C	B											B	C
その他																				
総合評価点	C	B	B	B	B	B	B	C											B	C

今後、当該技術を活用出来る工事に活用したいか	今後も是非活用したい	活用を検討したい	場合によっては活用することもある	技術の改良を強く望む
	－	－	－	－

優位性における判定

A	従来技術より大幅に優れる
B	従来技術より優れる
C	従来技術と同等
D	従来技術より劣る

追跡調査の必要性	－
追跡調査	－